

プラン名称: ไปไหน ~よってみタイけん、おおいたけん~

チーム名	市川ゼミナール大分班	対象地域	大分ステージ
大学名	明治大学	テーマ	□A) 若者を惹き付ける大分の魅力を活かした「観光まちづくり」 ☑B) タイの国の人を惹き付ける大分の魅力を活かした「観光まちづくり」
リーダー名	平野由麻		
指導教員名	市川宏雄		
メンバー名	小川知哉 河野恭子 澤村優輝 宮本夏音		

【本選出場】 大分県知事賞 受賞

企画概要

ไปไหน  
よってみタイけん、  
おおいたけん

外国人宿泊客が別府・湯布院に集中すること。外国人にほかの市町村のことを全く知られていないこと。これが大分県の抱える大きな問題だ。これらを解決するため、私たちは新規市場を開拓していきつつ、別府湯布院以外の地域を活性化させるプランを考えたい。

ターゲットはタイ人だ。順調に日本への観光客数を伸ばしている。しかし、わずかな国以外は大分空港への直行便がなく、九州を訪れるには福岡空港を経由する必要があるという懸念があった。それを逆手に取る。福岡と大分を結ぶ大分自動車道。その沿線、いわば「大分ゴールドルート」にある日田市、玖珠町、九重町、由布市の4市町を舞台とした「寄り道プラン」である。

各地で新規提案を実際に行き、賛同をいただいたものを中心に旅程を組んだ。訪日外国人向けに、温泉だけでなく、「よってみたい」県をめざす。

現状分析

SWOT分析

強み	豊富な観光資源 別府 湯布院の知名度	弱み	交通網の未発達 別府 湯布院以外の認知
脅威	少子高齢化による 国内生産の減少	機会	DCキャンペーンによる おんせん県の認知度

①別府・湯布院への集中



②観光地の集客力  
観光地の知名度が低い



インバウンドの力で解決

Thailand タイ

Target

- 01タイ
- 02該当地域

ターゲット  
①ビザ緩和による訪日客の増加  
②世間からの注目度  
③親日、価値観の合致

大分県の対象地域  
①福岡空港から大分県へ  
②あまり栄えてないところ  
③大分自動車道沿線の市町村

Plan

- 01日田市
- 02玖珠町
- 03九重町
- 04由布市

01 日田市  
フォトツーリズム



豆田町での散策によって、経済効果 & インバウンド対策

02 玖珠町  
プロジェクションマッピング



旧豊後森機関庫でのプロジェクションマッピングにより観光客誘致

03 九重町  
バンジージャンプ  
ハンズインチェキ



九重「夢」大吊橋でのバンジージャンプによる経済効果とタデ原湿原への観光客誘致

04 由布市  
食・体験ツーリズム



男池での日本文化体験により、農業への波及効果を狙う

+夜のプランで宿泊客の分散を図る

Point



企画書

問題解決

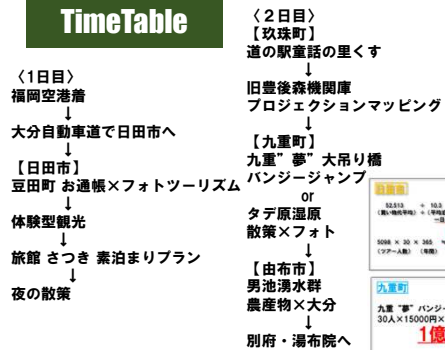
「大分ゴールドルート」を通る日田市、玖珠町、九重町、由布市においてそれぞれそこに立ち寄りたくなるようなプランを作成した。別府・湯布院に観光客が一極集中してしまう問題を利用することで、そして手前の地域でも新しい大分の魅力を知ってもらうことができるだろう。

また、既存の観光資源を利用し応用することで、「そこにあるものをいかす」企画を考えたい。最も大事な「実現性」についても、各地にそのプランを記した企画書を持ち込むことである程度の見通しを立てられた。どのような地域でも人を引き付けるような魅力を兼ね備えている。3回のフィールドワークでそのことに気づけてよかったと思う。

PR

タイでの人気サイトへ  
バナーやリンク  
=見やすい工夫

Time Table



新規企画について  
現状分析、概要、利益  
などをまとめて  
行政関係機関へ提案、  
承認済み

実現可能性

経済効果

年間  
約1万人増加  
⇒2億6000万円

具体的には

<p>【玖珠町】 5000円 × 30人 × 365日 = 5500万円 (ツアー人数) (年間)</p>	<p>【玖珠町】 プロジェクションマッピングによる集客 は福岡県内最少人数で1000人 2000円 × 1300人 × 2000年 = 5200万円 2000円 × 2.2 = 4400人</p>
<p>【九重町】 1000円 × 30人 × 365日 30人 × 15000円 × 365日 = 1億6000万円</p>	<p>【由布市】 1000円 × 30人 × 365日 = 1000万円 (食への影響 500円 持ち帰り・購入 500円)</p>